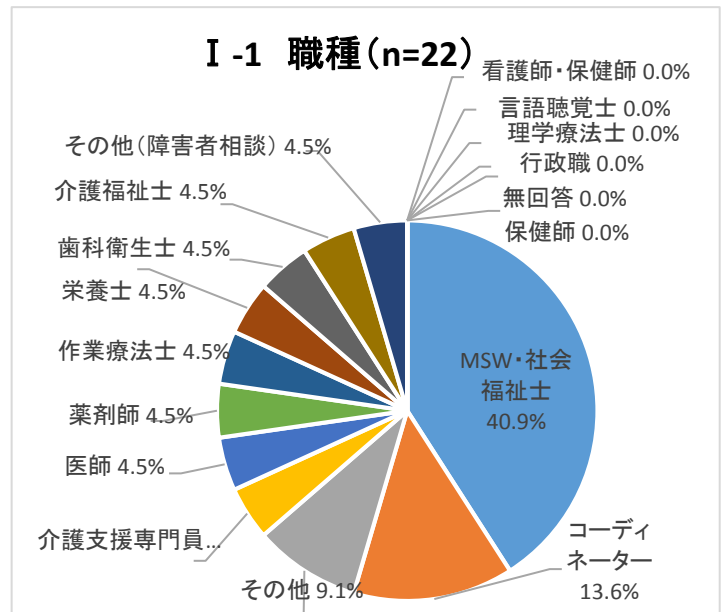


平成30年度沖縄県入退院支援連携デザイン事業
 「在宅医療・介護連携に係る事例検討意見交換会(共通研修Ⅰ-第2回)」出席者アンケート

実施主体:一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
 実施日:2018年10月30日(火)
 場所:沖縄県総合福祉センター 東棟401研修室
 対象:研修会参加者(31人)
 回答者数:22人

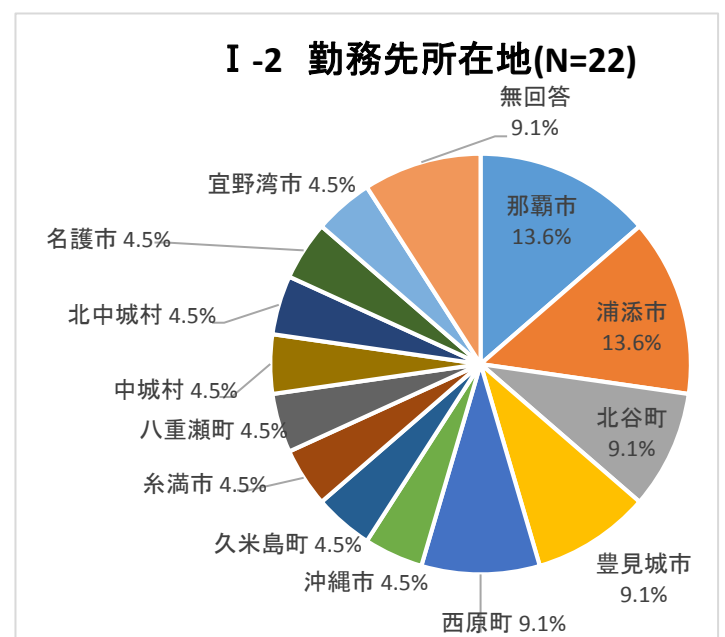
I-1 職種

選択肢	人	%
MSW・社会福祉士	9	40.9%
コーディネーター	3	13.6%
その他	2	9.1%
介護支援専門員	1	4.5%
医師	1	4.5%
薬剤師	1	4.5%
作業療法士	1	4.5%
栄養士	1	4.5%
歯科衛生士	1	4.5%
介護福祉士	1	4.5%
その他(障害者相談)	1	4.5%
理学療法士	0	0.0%
看護師・保健師	0	0.0%
保健師	0	0.0%
言語聴覚士	0	0.0%
行政職	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	22	100.0%



I-2 勤務先所在地

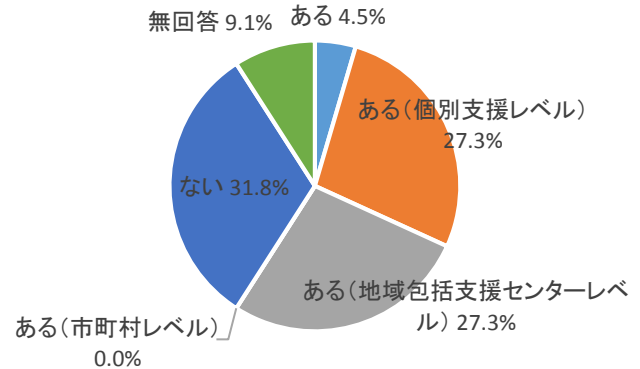
市町村名	人	%
那覇市	3	13.6%
浦添市	3	13.6%
北谷町	2	9.1%
豊見城市	2	9.1%
西原町	2	9.1%
沖縄市	1	4.5%
久米島町	1	4.5%
糸満市	1	4.5%
八重瀬町	1	4.5%
中城村	1	4.5%
北中城村	1	4.5%
名護市	1	4.5%
宜野湾市	1	4.5%
無回答	2	9.1%
計	22	100.0%



I-3 地域ケア会議への参加経験(複数回答)

選択肢	人	%
ある	1	4.5%
ある(個別支援レベル)	6	27.3%
ある(地域包括支援センターレベル)	6	27.3%
ある(市町村レベル)	0	0.0%
ない	7	31.8%
無回答	2	9.1%
計	22	100.0%

I-3 地域ケア会議への参加経験 (n=22)

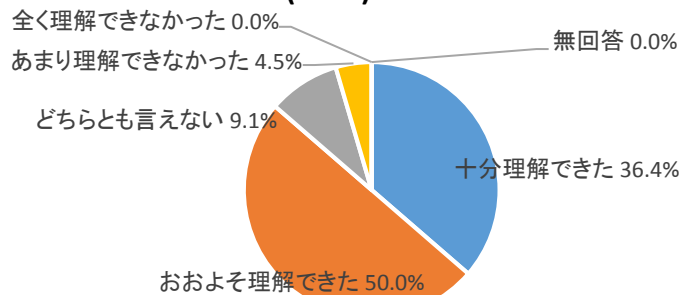


II 内容についての理解

II-1-1.本研修会の趣旨・目的について

選択肢	人	%
十分理解できた	8	36.4%
おおよそ理解できた	11	50.0%
どちらとも言えない	2	9.1%
あまり理解できなかった	1	4.5%
全く理解できなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	22	100.0%

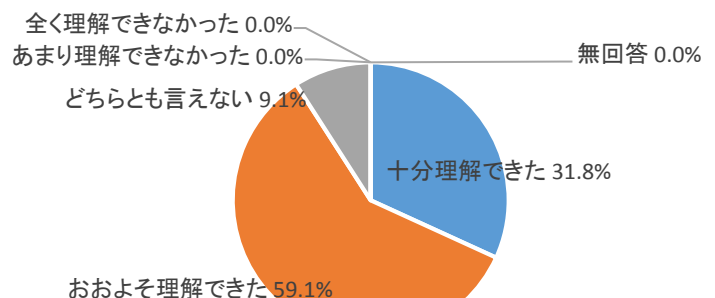
II-1-1.本研修会の趣旨・目的について (n=22)



II-1-2.講演:ソーシャルワークの視点に基づいた事例検討の枠組みについて

選択肢	人	%
十分理解できた	7	31.8%
おおよそ理解できた	13	59.1%
どちらとも言えない	2	9.1%
あまり理解できなかった	0	0.0%
全く理解できなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	22	100.0%

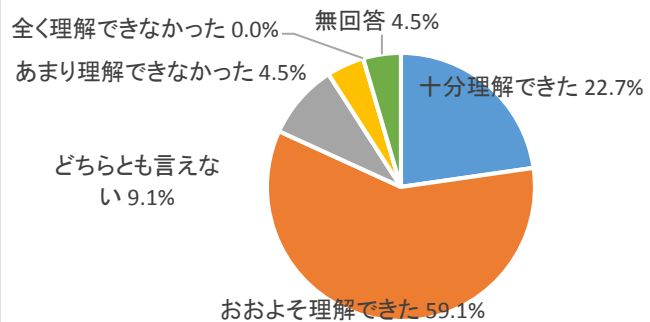
II-1-2.講演:ソーシャルワークの視点に基づいた事例検討の枠組みについて(n=22)



II-1-3地域ケア会議における事例検討の 意義と概要について

選択肢	人	%
十分理解できた	5	22.7%
おおよそ理解できた	13	59.1%
どちらとも言えない	2	9.1%
あまり理解できなかった	1	4.5%
全く理解できなかった	0	0.0%
無回答	1	4.5%
合計	22	100.0%

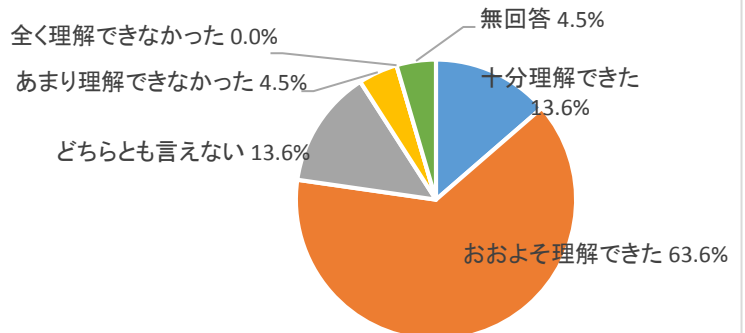
II-1-3地域ケア会議における事例検討の 意義と概要について(n=22)



II-1-4.事例選定・サポート方法等について

選択肢	人	%
十分理解できた	3	13.6%
おおよそ理解できた	14	63.6%
どちらとも言えない	3	13.6%
あまり理解できなかった	1	4.5%
全く理解できなかった	0	0.0%
無回答	1	4.5%
合計	22	100.0%

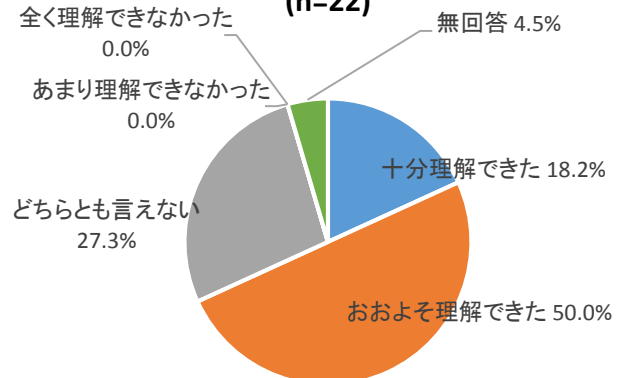
II-1-4.事例選定・サポート方法等について (n=22)



II-1-5.事例検討の計画方法について

選択肢	人	%
十分理解できた	4	18.2%
おおよそ理解できた	11	50.0%
どちらとも言えない	6	27.3%
あまり理解できなかった	0	0.0%
全く理解できなかった	0	0.0%
無回答	1	4.5%
合計	22	100.0%

II-1-5.事例検討の計画方法について (n=22)



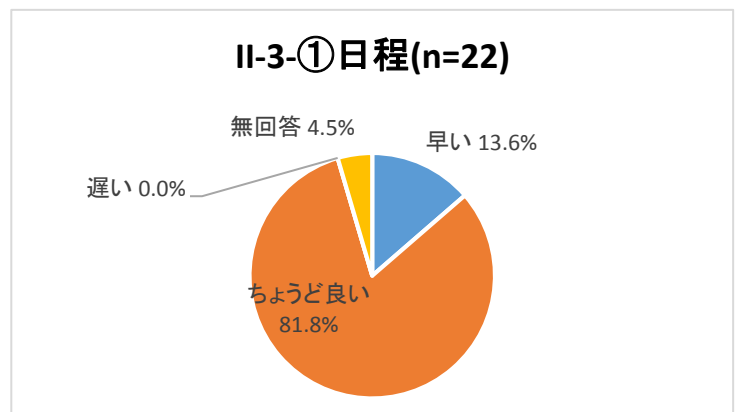
II-2 プログラムの内容で特に参考になったことについて(自由回答:4人)

- ・ソーシャルワークの視点が大切と気づいている多職種も増えてきていますがまだまだです。今後どのようにMSWとして日々取り組むべきか考えさせられる研修でした。
- ・講師のソーシャルワークの視点は現在の業務に活かすことができる。これだけの機関と職種にデザイン事業として何を伝えたいのかが分からなかった。
- ・本人のことを考えてしっかりと支援(多職種連携で)が重要と感じた
- ・在宅医療・介護連携におけるソーシャルワークの機能の位置づけについて、自分の所属している組織に説明できる知識を得た

II-3 研修日程・時間

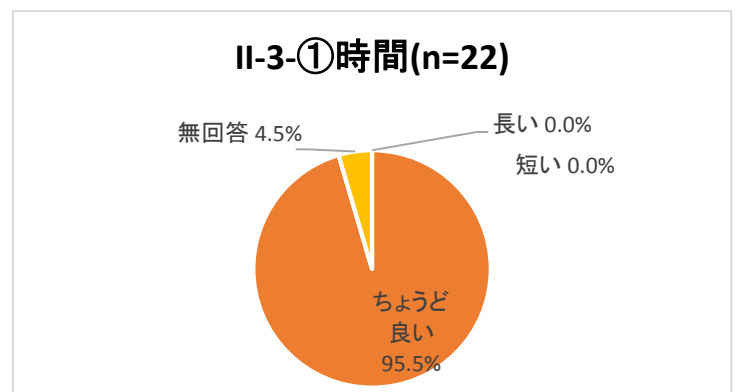
①日程

選択肢	人	%
早い	3	13.6%
ちょうど良い	18	81.8%
遅い	0	0.0%
無回答	1	4.5%
合計	22	100.0%



②時間

選択肢	人	%
長い	0	0.0%
ちょうど良い	21	95.5%
短い	0	0.0%
無回答	1	4.5%
合計	22	100.0%

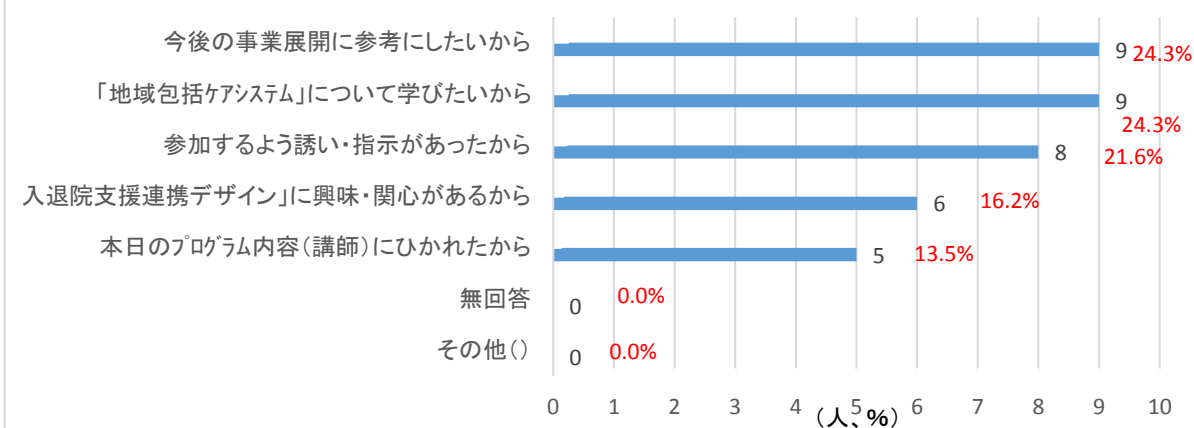


II-4 参加の動機

※複数回答

選択肢	人	%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
本日のプログラム内容(講師)にひかれたから	5	13.5%
入退院支援連携デザインに興味・関心がある	6	16.2%
参加するよう誘い・指示があったから	8	21.6%
「地域包括ケアシステム」について学びたいから	9	24.3%
今後の事業展開に参考にしたいから	9	24.3%
計	37	100.0%

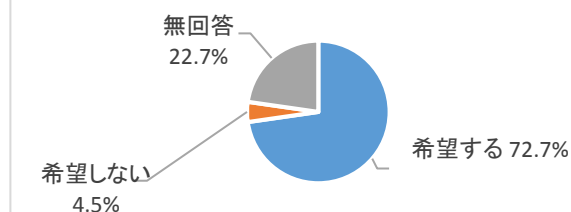
II-4 参加の動機(n=37)



II-5 今後も同様な研修会を希望するか

選択肢	人	%
希望する	16	72.7%
希望しない	1	4.5%
無回答	5	22.7%
計	22	100.0%

II-5 今後も同様な研修会を希望するか(n=22)

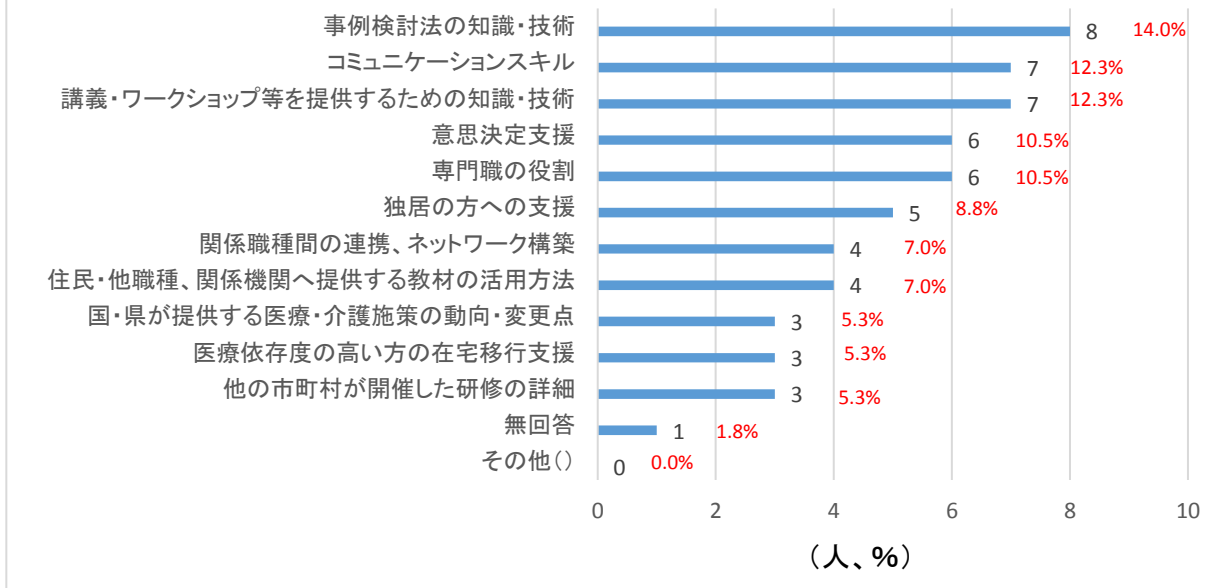


III 今後取り上げてほしいテーマ

※複数回答

選択肢	人	%
その他	0	0.0%
無回答	1	1.8%
他の市町村が開催した研修の詳細	3	5.3%
医療依存度の高い方の在宅移行支援	3	5.3%
国・県が提供する医療・介護施策の動向・変更点	3	5.3%
住民・他職種、関係機関へ提供する教材の活用方法	4	7.0%
関係職種間の連携、ネットワーク構築	4	7.0%
独居の方への支援	5	8.8%
専門職の役割	6	10.5%
意思決定支援	6	10.5%
講義・ワークショップ等を提供するための知識・技術	7	12.3%
コミュニケーションスキル	7	12.3%
事例検討法の知識・技術	8	14.0%
計	57	100.0%

Ⅲ 今後取り上げて欲しいテーマ(n=57)



※特に取り上げて欲しいテーマ

- ・事例検討法の知識・技術(2名)

Ⅳ その他、全体を通しての感想・意見

- ・今後事例検討研修を行うためにとても参考になりました
- ・現場で障害を持った人たちのソーシャルワークを実践されている方のお話が参考になりました。
- ・ここ数年の入退院支援デザインに参加する上で疑問だったことの答えに近づいたと思います。今日参加できてよかったです。
- ・口から全身を見る→その人を見る→その人の生活を見る にやっとたどり着いたところです。今後はソーシャルワークの視点をもつ を加えていかないといけないと感じました。ありがとうございました。
- ・ソーシャルワークの視点についてとても勉強になったけど、主催者側が何をターゲットに開催したのかが分からなかった。